

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用して故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

型名	変速刃物とぎ機 STD-135F	お買い上げ日	保証期間
		年 月 日	お買い上げ日より 6か月
販売店	販売証明書やレシート等を添付してください。		

- 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 一般家庭用以外(業務用、レンタルなど)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ニ) 定格時間以上のご使用、または定格時間内であっても激しい連続作業でご使用になった場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災・異常電圧による故障及び損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書に販売証明書やレシート等、お買い上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は付属品・消耗品には適用されません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
- 本書に記入のあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には当社までご相談ください。
- 保証期間経過後の修理や部品取り寄せについてはお買い上げの販売店にご依頼ください。

お客様
相談窓口

☎ 03-3252-8861

受付時間: 9:00~12:00 13:00~17:00
(土日祝日及び弊社休日を除く)

修理及び別売品の購入はお買い上げの販売店にご依頼ください。左記相談窓口では直接対応できません。あらかじめご了承ください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

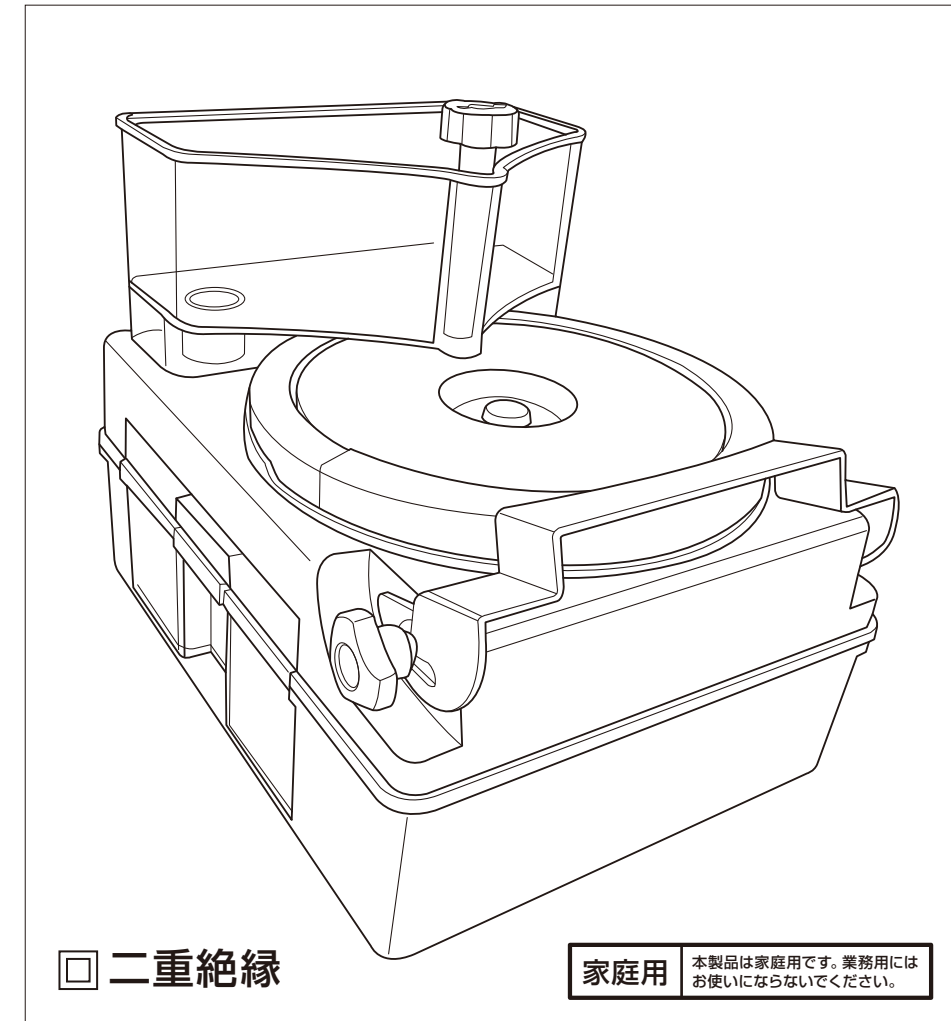
本社 〒101-0035
東京都千代田区神田紺屋町11番地
TEL: 03-3252-8861

修理工場 〒340-0002
埼玉県草加市青柳6-30-9
TEL: 048-931-4151

ホームページ <https://www.shinko-ss.co.jp>



変速刃物とぎ機 STD-135F 取扱説明書



☐ 二重絶縁

家庭用 本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

このたびは**変速刃物とぎ機**をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「⚠ 警告」を必ず守って下さい。
 - ご使用前に、この「⚠ 警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

⚠ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外には近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気が多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

⚠ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
 - 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
 - コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
 - 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
 - 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
 - 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
 - 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入に心がけ、長期間安全にご使用ください。
 - 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
 - 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
 - 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
 - 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
 - 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
 - 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。
- ☞前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

変速刃物とき機使用上のご注意

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、変速刃物とき機としてさらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
 - 表示を超える電圧で使用すると設定された動作をせず故障の原因になります。
- 使用に際しては、安全のため保護めがねの着用を心掛けてください。
- 砥石は純正品を使用してください。
 - 純正品以外の砥石を使用されますと過負荷からのモーター焼損など故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。
- 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - 異常があると、砥石が破損し、けがの原因になります。
- 使用中、機体の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店または、弊社に点検、修理を依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、砥石や本機に破損や変形がないことを確認してください。破損や変形があるとけがの原因になります。
- スイッチが切れている事を確認してから電源プラグを差し込んでください。スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグに触らないでください。感電事故の原因になります。
- 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- 使用中、刃物の角度を起こしすぎたり、力を入れすぎたりしないでください。
 - 刃先が砥石に食い込んで大変危険です。
- 新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。
 - 砥石が破損したとき、けがの原因になります。
- 試運転を励行してください。
 - 試運転時間は、砥石交換のとき 3分間以上
 - その日の作業始めのとき 1分間以上です。
 - 試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
- 砥石や付属品は取扱説明書(本書)に従って確実に取付けてください。
 - 確実に取付けていないと故障やけがの原因になります。
- 本機の定格時間は30分です。30分以上連続して使用するとモーターが高温になって故障の原因となりますので電源を切って30分くらいモーターを冷やしてください。

仕様明細

型 式	STD-135F
電 圧	AC100V
周 波 数	50/60Hz
全 負 荷 電 流	0.4A
消 費 電 力	40W
回 転 数	変速300~600min ⁻¹
絶 縁 方 式	二重絶縁
電 源 コ ー ド	1.8m
砥 石 寸 法	外径135×厚み18×穴径45mm
質 量	2.6kg
定 格	30分

※本機は改良のため、予告なしに仕様変更することがあります。

延長コードのご使用ついて

- 延長コードを使うときは電圧降下を防ぎ最高の効率で使用するために出来るだけ短く適切な太さのコードを使用してください。
- コードの太さ(公称断面積)と長さの関係(参考)

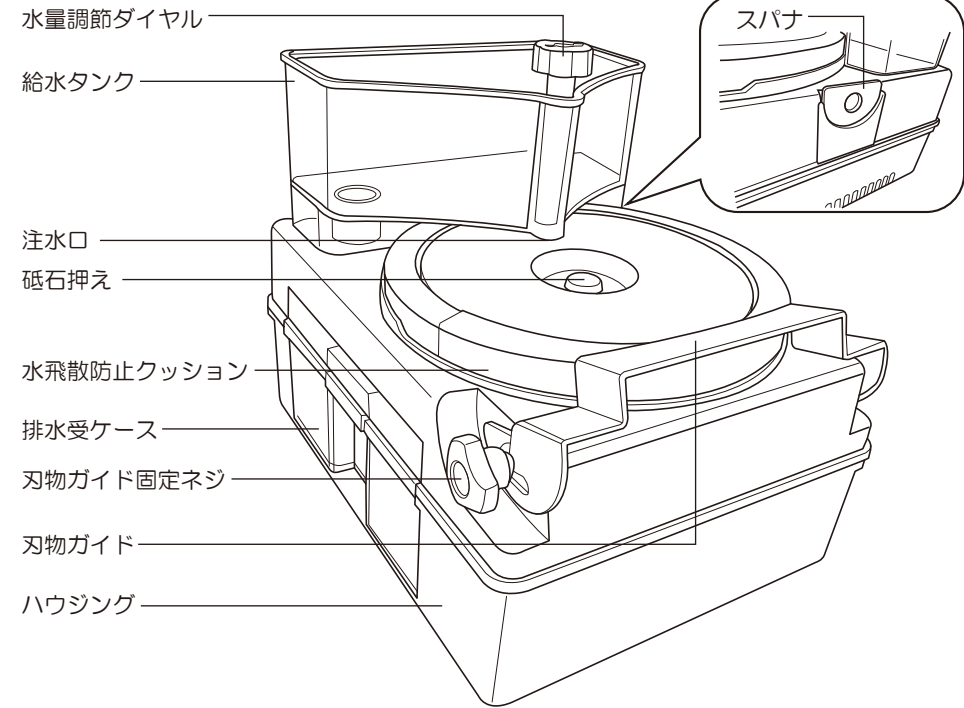
コード内の電線の太さ(公称断面積)	延長コードの長さ
0.75 mm ²	10 m
1.25 mm ²	15 m

☞ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

用途

- 包丁、ノミ、カンナ、彫刻刀、ハサミなど刃物の研磨
- ※セラミック製の包丁は砥石より固いため本機では研げません。

部品の名称



標準付属部品

砥 石	中砥石 (#1000)
ス パ ナ	砥石の交換時に使用します
給 水 タ ン ク	水量調節ダイヤル付き
排 水 受 け ケ ー ス	排水を貯めておけます
刃 物 ガ イ ド	刃物を乗せて固定出来ます

別売砥石について

- この製品には別売りの3種類の砥石が使用できます。

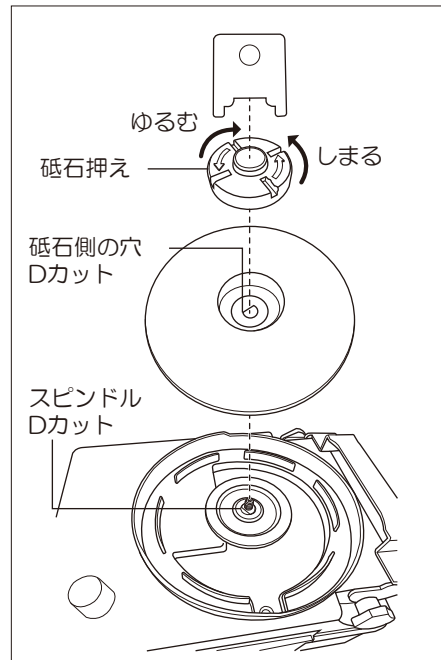
荒 砥 石	#180	粒子が粗いため欠けた刃の成形などに
中 砥 石	#1000	汎用性の高い基本の砥石です
仕上砥石	#6000	粒子がより細かいため仕上げ研ぎに

作業前の準備

■砥石の交換方法

- 水飛散防止クッションを外してください。
- 刃物ガイドを邪魔にならない角度にしてください。
- 付属のスパナで砥石押さえを右(矢印の方向)に回して外してください。
- スピンドルDカットと砥石側の穴Dカットを合わせて装着してください。

☑ 砥石装着後に砥石が正確に入っているか確認してください。正確に入っていないと砥石の振れの原因にもなります。付属のスパナで砥石押さえを左(矢印の方向)に回して締めてしてください。



■砥石の下準備

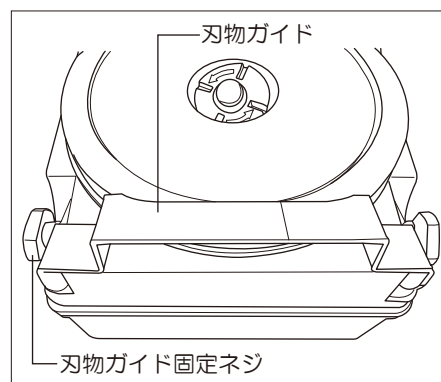
- 砥石は研ぎ始める前に本体から外して水に沈めて十分に水を浸透させてください。(目安としては気泡が出なくなるまで) 研磨中は常に水を垂らしていきますが、あらかじめ水を浸透させておくことで砥石の硬さが均一になり研ぎムラも少なくなります。

■刃物ガイドの調整

- 刃物ガイドは、刃物に合わせて角度と高さを調整し刃物ガイド固定ネジでしっかり締め付けしてください。

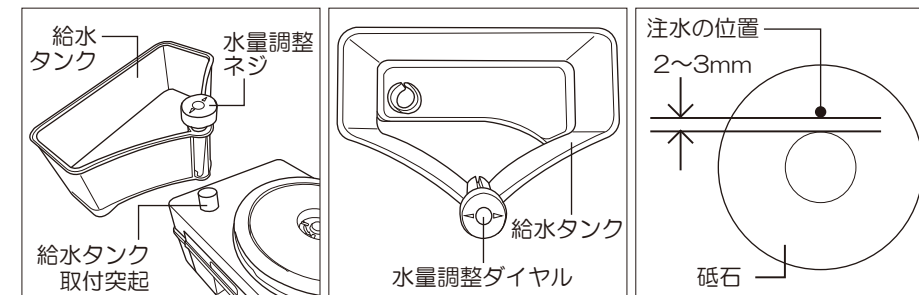
☑ 刃物ガイドと砥石の間隔は1~3mm位が適当です。刃物に合わせて調整してください。

☑ 本機に付いている刃物ガイドは一般的な刃物用です。うすい刃物や角度の小さい刃物、刃先が曲がっている刃物等には合わないことがあります。このようなときは、刃物ガイドを取り外して刃物(刃先)に合わせて研いでください。



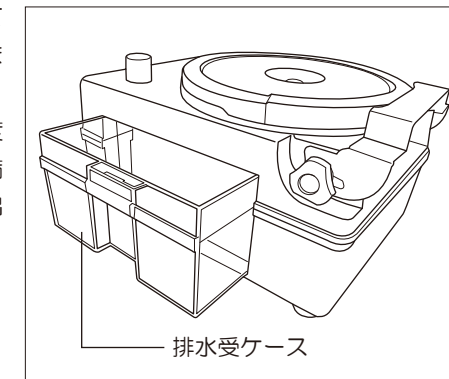
■給水タンクの取付と調整方法

- 給水タンクの底についている穴を本体の給水タンク取付突起に合わせて差し込んで下さい。
- 給水タンクの水量調整ネジの矢印が真横になった状態で水がストップします。
- 水量を調整するときは左右どちらかに少しずつ回しますと調整できます。
- 給水タンクの注水口は砥石の中心に近いところに置いてください。注水口は砥石の内側2~3mm位の所が適当です。
- 給水タンクの給水は、給水タンクに表示してある赤線以上には水を入れないでください。



■排水受けケースについて

- 本体側面に排水受けケースが収納されており、使用時の排水を貯水します。線まで溜まったら水を捨ててください。
- ☑ 給水タンクの水は満タンにせず7分目程度位いれてください。給水タンクの水を満タンにすると排水受けケースから溢れ出しますので調整して使用してください。



■水飛散防止クッションの調整方法

- 水はね防止の為に砥石の回りにクッションがついています。砥石の上面から1~2ミリ位上になるように調整してください。クッションの調整は手で簡単にできます。
- ☑ クッションはスポンジ製ですので、研ぐ刃物が触れても刃物を傷つけたりすることはありません。

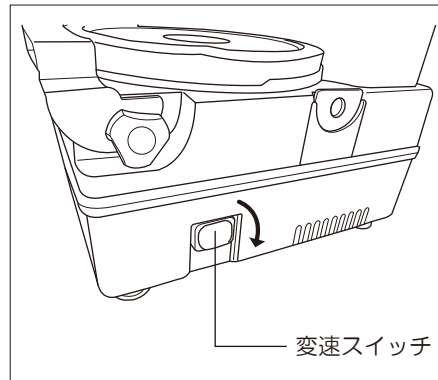
ご使用方法

⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してあるAC-100Vの電圧でご使用下さい。100Vのものを間違えて200Vの電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 差込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。また、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- 本機は水を使用しますので、感電事故のないように充分注意して使用してください。
- 使用前に砥石に亀裂、割れがないことを確認してください。亀裂、割れのままご使用になりますと、砥石の破損により大変危険です。
- 無理に押し付けて、回転数が大幅に低下するような負荷をかけないで下さい。作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命が短くなります。
- 本機の定格時間は30分です。連続使用時間が30分を超えるとモーターが高温になりますので、このようなときは30分位休ませてください。

■スイッチの操作

- 本機後部にある、変速スイッチを矢印方向に回して砥石の回転速度を調整してください。
 - OFFに合わせるとスイッチが切れます。
- Ⓔ本機は水を使用しますので、感電事故のないように充分注意して使用してください。



・砥石の粒度と回転数

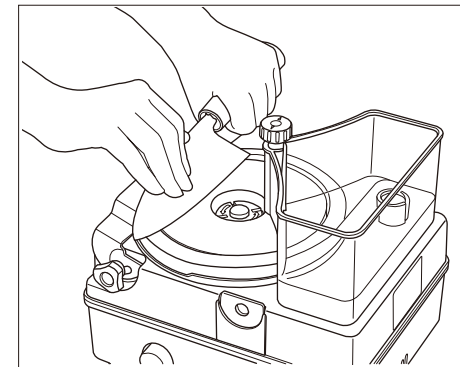
種類	粒度(＃)	回転数	砥石の寸法(mm)
仕上砥石	6,000	300	外径135×厚さ18×内径45
中砥石	1,000	450	〃
荒砥石	180	600	〃

Ⓔ砥石の回転数は本機の目安です。刃物に合わせて回転数を調整してください。

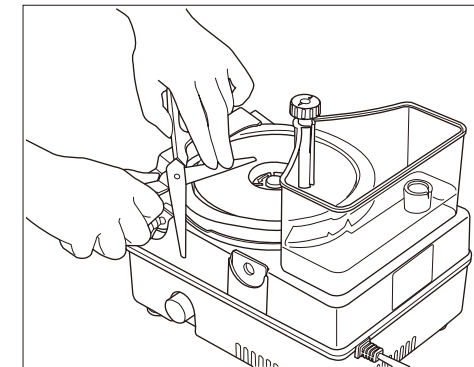
■刃物のとぎ方法

- スイッチを入れて砥石を回転させ、給水タンクの水量調整ダイヤルを回し水を出して下さい。
 - 刃物を研ぐとき片方の手で柄の部分をしっかりにとぎり、片手で刃物の板部を押さえるようにしてください。包丁のような長目の刃物は左右に移動させながら研ぐと上手に研げます。
- Ⓔ砥石が刃物に向かって回転する研ぎ方は、刃物の角度を急にしたり、力を入れすぎたりしますと、刃先が砥石に喰い込んで危険です。充分慣れてから刃先角度、刃物の形状、力の入れ方などに注意して研いでください。
- 片刃の刃物を研ぐときは、角度のついた面を研ぎ、指先で刃先のかえりをたしかめてください。かえりが感じられればほぼ研ぎ上がりです。裏面は回転を止めた砥石に平にあてて軽くこすってください。かえりがとれれば研ぎ上がりです。
- Ⓔ本機には簡単な刃物ガイドがついています。うすい刃物や角度の小さい刃物、刃先が曲がっている刃物等には合わないことがあります。このようなときは、刃物ガイドを取り外して刃物(刃先)に合わせて研いでください。

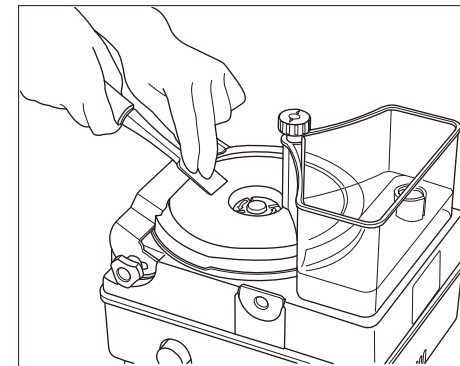
■刃物とぎ方法例



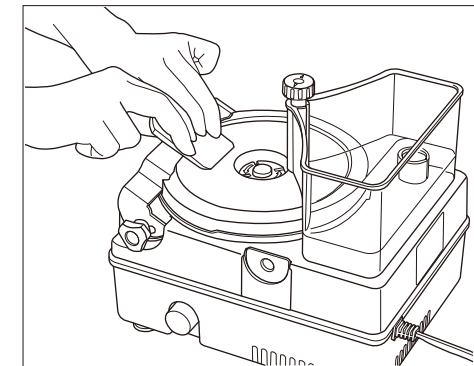
包丁



はさみ



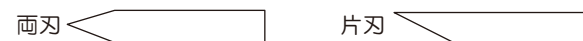
のみ



かんざし

■刃物の種類

- 刃物には片刃と両刃があります。片刃を両側から同じように研ぐと切れなくなります。また両刃を片側から研いでも切れません。



- 刃物(刃先)の種類は下図のようなものがあります。刃先に合わせて刃研ぎをしてください。

種類	菜切包丁	洋包丁(文化包丁)	刺身包丁	出刃包丁
形状				
名称	両 刃		片 刃	
刃とぎの方法	●刃の角度に合わせて、両面同じように研いでください。		●刃先の角度についている面を角度に合わせて研いでください。 ●裏面のかえりは砥石の回転を止め砥石に平にあてて軽くこするようにしてください。	

保守、点検について

⚠ 警告
●保守、点検、部品交換等のお手入れの前に電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

●各部取付ネジの点検

- ネジなどゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締め直してください。

●使用後の手入れ

- 油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。
- 長時間使用しますと、砥石の下部の水受け、排水口に研ぎかすがたまります。砥石を取外し、内部を清掃してください。
- 本機は防水構造ではありません。汚れを取り除くときは、乾いた布か洗剤をしみこませ、良くしぼった布で拭いてください。絶対に直接、水をかけて洗わないでください。揮発性の溶剤や、ガソリン、シンナーなど引火性のものでは洗ったり拭き取ったりしないでください。変形や火災などの原因になります。
- 砥石の表面は使う内に削れて凸凹になっていきます。また砥石の表面に細かい削りカスが詰まって目詰まりすることもあります。時々、市販の面直し砥石、修正砥石を使用して表面を平らに慣らしつつ目詰まりした削りカスも取り除いてください。

●作業後の保管

- 高温にならない、乾燥したところに保管してください。
- 小さいお子様の手が届かないところで、落下の心配のないところで保管してください。

別売品について

- 別売品については本製品ご購入の販売店にてご注文をお願いします。

品名	JANコード
135mm 荒砥石 #180	4954008991302
135mm 中砥石 #1000	4954008991319
135mm 仕上砥石 #6000	4954008991326

よくあるご質問

動かなくなったのですが

- 電源プラグが抜けていないか確認してください。
- プラグを直接コンセントに接続して動いた場合は延長コードが原因です。延長コードが長すぎたり、ドラム式でコードを巻いた状態ですと電圧不足で動かない場合があります。
- 刃物を強く押しついたり定格時間を越えた使用では過負荷による温度上昇によりモーターが止まる事があります。再度使用する場合は少し時間をおいてモーターを冷ましてから使用してください。
- 夏場は外気温が高いぶんモーターが熱くなるのが早いので使用時間も短くなります。
- 上記のいずれにも当てはまらない場合は故障の可能性があります。お買い求めの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

使用中に砥石の回転が遅くなります

- 必要以上に刃物を押しつけると砥石の回転が遅くなります。砥石の回転が遅くなるほどの力は必要ありません。刃物も砥石も早く減るばかりか本機の故障の原因にもなりますので刃物は押しつけ過ぎないでください。

刃物ガイドを外しても大丈夫ですか？

- 刃物ガイドは文字通り刃物を砥石にあてる際の補助部品です。本機の使用に慣れてきたら外しても構いません。

セラミック包丁は研げますか？

- セラミックは砥石より固いためセラミック製の包丁を本機で研ぐことはできません。

砥石が削れて表面に凹凸ができましたがどうすれば良いですか？

- 砥石表面が平らでないと刃物を研ぐことはできません。砥石表面が削れてきたら定期的に市販の面直し砥石もしくは修正砥石を用いて表面を平らに慣らしてください。

砥石に水道から直接水をかけても大丈夫ですか？

- 構造的には大丈夫ですが、水の勢いが強いと研ぎ汁がすぐ流れてしまいます。研ぎ汁は砥石が削れて出てくる微細な粒子を含んだ液体で、本機は研ぎ汁で刃物を研磨する構造となっております。そのため出来るだけ研ぎ汁は流れずに砥石表面に滞留している方が望ましいので、なるべく付属の水槽をご使用ください。

水をかけないで使うことはできますか？

- 本機の砥石は水研ぎ専用ですので必ず使用前に濡らして砥石内部に水を浸透させてから使用してください。また使用中も遠心力で水が抜けていきますので常に水を垂らしながら使用してください。

砥石はどれくらい水に浸せば良いのですか？

- 水に浸すことによって砥石内の空気の代わりに水が浸透していきます。ですので完全に気泡が出なくなるくらいまで浸してください。こうすることで砥石の硬さが均一になり研磨効率が良くなる上に砥石もより長持ちします。

市販の砥石やダイヤモンド砥石は取付け出来ますか？

- 本機に取付け出来るのは本機専用の砥石3種類（荒砥石、中砥石、仕上げ砥石）だけです。